

議題	第五回運営推進会議
日時	平成 30 年 9 月 14 日 (金) 14:00~15:00
場所	デイサービス若芝 2F
出席者	(順不同敬称略) 芝本町町内会長(民生委員) M 様 地域包括支援センター三島 H 様 デイサービス若芝利用者様ご家族 T 様 O 様 デイサービス若芝センター長 渡部浩考 デイサービス若芝管理者 宇佐見恵子 デイサービス若芝総括マネージャー 渡部美保子 (議事録作成者) 渡部浩考 (議事進行者) 渡部美保子
会議の詳細	
<p>● ごあいさつ (センター長 渡部浩考)</p> <p>～出席者のご紹介、本会議の趣旨 (目的) について～</p> <p>回数を重ねて 5 回目の開催となりました。続けることで得られたご縁や情報があります。それは事業所にとっての財産ですので、大事にしていきたいと考えています。</p> <p>● デイサービス若芝のご紹介 (センター長 渡部浩考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係事業所のご紹介 →3 月開所したデイサービス山風木のご紹介 (認知症専門デイとして軌道に乗ってきた) ・ デイサービス若芝の現況報告 ・ 人材確保に関する考え方。取組について。 →社会的課題であるが、真摯に取り組んでいく。 →3 事業所で 25 名程の人材がいるので協力して運営しています。 <p>● デイサービス若芝の活動 (管理者 宇佐見恵子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真をプロジェクターで投影しながらの活動報告 ・ 地域との関わりや連携を強く意識していることの説明 →4 月 1 日の地域の花見に招待いただいたことは本当に嬉しかった。御礼を伝える。 <p>町内会長 M 様：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芝本町の行事として 7 月 15-16 日に浅間神社(二宮神社)でのお祭りがある。 ・ 若い力が減ってきていることは他と同じだが、マンションの若い家庭が組長をやってくれたりして、若い力も入れながら街作りを進めている。 ・ 11 月 11 日には「子どもは地域の宝」事業としての催しがある。またご招待します。 <p>ご家族 T 様：</p> <p>町内会長と民生委員の両方を担って、大変でしょう！</p> <p>→M 様 役割が決まっているので行事はそれほど大変でもない。</p> <p style="text-align: center;">調整や会議などが頻繁にあることが大変なんです。</p>	

● H30 年度後期に向けて

元気な高齢者が増えていることを感じています。

→世の中が変わってきているので、私たちも勉強しなければならない

→独居や看取りなども身近なテーマになってきている

→認知症についてはしっかり勉強してレベルアップしていきたい

● 意見交換

総括 渡部：

関係事業所の「ふじしろデイ」では藤代町と連携して町内カフェの開催に協力しています。

住宅街ならではの希薄な人の繋がりを改善していこうとしています。

芝本町の地域課題とは何かありますか？

町内会長 M 様：

藤代町は市営住宅もあって交流の難しさはあると思う。芝本町も高齢化という課題は他と同じであり、独居や老老介護の世帯が多く 48 軒ある。他の地域の倍ぐらいである。しかし、現状は皆さん元気な高齢世帯として生活されていること。息子・娘たちの関わりがしっかり繋がっていて頻繁に様子を見に来ている。ことで生活が維持されているという感覚を持っている。

独りだったりした方が、「しっかりやらなければ！」という意識が働くのも事実だと思う。

センター長 渡部：

私たちは地域のことや町のこと知らないことが多いと思います。

町内会長 M 様：

婦人会の活動で、若い世代と一緒に活動する機会があったりするなど、様々な交流が維持されていると思う。毎月のように行事があって大変ですが。。防災訓練は毎年 12 月の第 1 日曜日ですよ！10 月ぐらいには打合せがあって案内も出ると思います。

センター長 渡部：

芝本町の子どもは何人ぐらいいるのですか？

町内会長 M 様：

少ないですよ。30 人ぐらいです。でも「しゃぎり」繋がりががあるので、良く知った関係になっていることで少人数でも存在感があると思います。

総括 渡部：

芝本町は「行動する力」がありますね。商店街パワーというか、本当に商店街という立地の素晴らしさを痛感しています。その一員としていろいろな活動ができればと思います。前町内会長のN様から、私たちの散歩を「防犯活動に協力してくださっていますね」と言っていたことは今でも心に残っています。

ご家族 O様：

いつも「お世話になるばかり」と思っていたのに、「役に立てることもある」と聞いて本当に嬉しくなったことを覚えています。

三島包括 H様：

様々なご家庭があって、元気な高齢者も多いです。しかし、年相応に思い込みが強くなったりもしているので、支える周囲の理解がとても重要になってきています。三島包括では認知症サポーターステップアップ講座を予定しているので、周知に協力していただいて理解者を増やすことでよりよい町作りが出来ていけばと考えています。警察・銀行など民間企業さんも研修として受講してくれています。

利用者様ご家族 T様：

昔は70歳ぐらいは完全に高齢者だったが、今は70歳ぐらいだったら「やれること」がたくさんある。10歳ぐらい感覚がズレてきていると思う。

町内会長 M様：

元気な高齢者も増えて、65歳、70歳まで働かなければならなくなっている。民生委員を引き受ける制度的な要件なども時代にあわせて変更していかなければならないと思う。80歳ぐらいで頑張っている民生委員もいますが（笑）。

センター長 渡部：

地域の情報をうかがえるのが本当にためになります。私たちに出来ることを考えていくきっかけになるので助かります。また、ご助言等をいただければと思います。なお、次の開催予定は31年3月頃を予定しております。